

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
-----	------------------

所管課	保健福祉局 総務課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>他の民間事業者では取組みが困難な福祉サービスの実施を通じ、本市の福祉サービスの充実に積極的な役割を担う。</p> <p>また、事業団が持つ多様な専門性を活かし、民間の社会福祉法人等の先導的役割を担う、より質の高いサービスを提供する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>平成22年度までに抜本的な見直しを行い、経営健全化を達成しているが、今後も引き続き、長期的に健全な経営を維持するよう努める。</p>

ミッションに基づく中期計画

3～5年後に目指す状態	<p>① 再整備後の総合療育センターでの専門性を活かした運営等障害児・者の支援の中心的な役割を担う。また、団立保育所、児童館、障害児支援施設の連携等専門性を活かし子育て支援の先導的役割を担う。</p> <p>② 介護認定審査等公平・公正さが要求される事業について、市と一体となって福祉サービスの更なる充実に取り組む。</p>
-------------	--

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
総合療育センターの利用者満足度	84.5%	80%以上	81.4%	80%以上	80%以上	85%以上	85%以上
介護実習・普及センターの利用者満足度	99%	80%以上	87%	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
児童館の利用者数	651,601人	617,000人以上	658,676人	617,000人以上	617,000人以上	617,000人以上	617,000人以上
国保特定健診受診者のうち特定保健指導非対象で保健指導が必要な者（区役所対応分）に対する指導割合	48.0%	40%以上	48.2%	40%以上	40%以上	40%以上	40%以上

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）

<p>団体における評価</p> <p>総合療育センターの外来患者数や介護実習・普及センターの研修会への参加者の増加など、専門的ノウハウを活かしたサービス提供のなか、同施設の利用者満足度、児童館の利用者数、乳児家庭訪問や保健指導割合は目標を達成しており、本市の福祉の向上に貢献できた。</p> <p>特に、H28年度の総合療育センター西部分所の開所により、市民の方へより身近な場所で、ニーズに応じた質の高い療育サービスの提供が可能となった。</p>	<p>市の評価</p> <p>総合療育センター等の利用者満足度等、成果目標は達成されており、民間事業者では取組が困難な福祉サービスの実施・充実に繋がっている。また、これまで蓄積してきた専門技術を活かし、子どもから高齢者まで多世代の相談・支援に努めており、民間の社会福祉法人等の先導的な役割も担っており、質の高いサービスの提供に努めていると評価する。</p> <p>経営計画に基づき、人材育成や経営体質改善に取り組んでおり、経営は安定している。</p>
<p>今後の課題及び見直し内容（案）</p> <p>〈今後の課題〉</p> <p>① 専門性の継承、公益性の維持を担保する人材の確保と育成</p> <p>② 質の高い福祉サービスを提供するための施設の整備</p> <p>〈見直し事項〉</p> <p>① 人材の確保・育成の計画の確立</p> <p>② 老朽化した団立施設の整備・資金計画の確立</p>	<p>団体への改善指導内容（案）</p> <p>引き続き、社会状況の変化を受けた社会福祉法人制度改革や改正労働法などに的確に対応するとともに、不祥事防止に努めるように指導を行う。また、経営の自立性を高めるための検討を行っていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
<p>長期的な健全経営を維持できるよう、事業団の経営計画に基づき、本部機能強化等の人材育成や、障害施設・保育所等の施設再整備に取り組んだ。</p>	